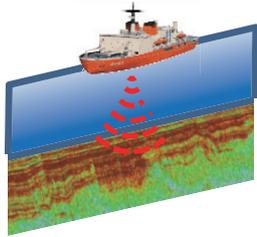


第58次南極地域観測隊(JARE58)

地圏：一般研究観測及びモニタリング観測

船上地圏地球物理観測

南極海の地球物理観測を行うことにより、氷床変動史や氷床環境を解明する。また、海底圧力計により、海の水位変動を観測する。



サブボトムプロファイラ
(海底地層探査装置):
海底下の地層や地質を調査



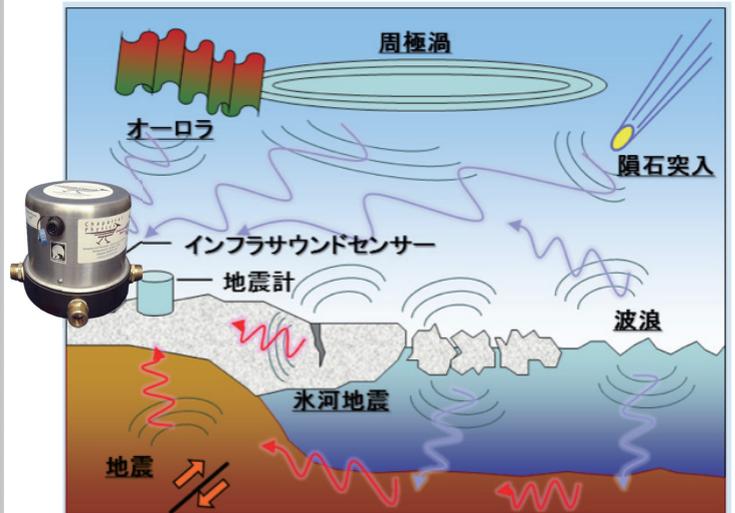
船上重力計:
洋上の重力値を計測



海底圧力計:
海底の圧力変化を連続測定
することで海水位変動を
観測

地震波・インフラサウンド計測による 大気-海洋-雪氷-固体地球の物理相互作用解明

インフラサウンド(超低周波音)観測の拡充し、微気圧変動により大気・海洋・雪氷・固体地球システムにおける波動伝播特性の研究から、地球温暖化に伴う南極表層・海洋環境のダイナミクスを解明する。



統合測地モニタリング観測 / 地震モニタリング観測 / インフラサウンド観測

昭和基地では、VLBI、DORIS、GNSS、験潮儀、国際絶対重力観測点といった国際観測、超伝導重力計、GNSSバイ測定、衛星校正(CR)を実施する「統合測地モニタリング観測」、国際地震観測点を維持する「地震モニタリング観測」、微気圧変動を監視する「インフラサウンド観測」を継続する。また、地圏変動を捉えるため、昭和基地周辺の露岩・氷床上でGNSS、地震、地温計観測を展開する。